

2023年 4月 15日

新宿区長 宛て

団体名 特定非営利活動法人シャプラニール  
=市民による海外協力の会  
所在地 〒169-8611  
東京都新宿区西早稲田 2-3-1  
早稲田奉仕園内  
(フリガナ) サカグチ カズタカ  
代表者氏名 代表理事 坂口 和 隆

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 45,6000 円

申請事業の分野 (該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。)		
保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	国際協力	職業能力開発・雇用機会拡充
文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	子どもの健全育成	市民活動支援
<input type="radio"/>	その他 (多文化共生)	

事業計画書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会</p>
<p>事業名</p>	<p>「わたしの隣の外国人」を知る・つながる連続講座</p>
<p>① 事業目的・概要</p>	<p><b>ア 事業目的</b></p> <p>新宿区は在住外国人及び在勤・通学する在住外国人が他区と比較しても多い。日本人も海外ルーツの住民も共に新宿区民であるという意識の醸成が今後更に必要となってくる。本事業の目的は主に日本人の区民を対象とした連続講座を通じて、在住外国人と日本社会の状況や自分が住む地域コミュニティの中の外国人の状況について理解を深めること、及び在住外国人と共に暮らすことを我が事として捉えるような意識の変容や、在住外国人と主体的に関わるといった実践につなげていくことである。</p>
	<p><b>イ 事業概要</b></p> <p>本事業の講座では、在住外国人の状況や多文化共生の概要から草の根の活動までを4回の講座で取り上げ、本テーマへの理解と当事者意識が芽生えるような内容となるように工夫する。各回のテーマは以下を計画している。</p> <p>第1回：日本の在住外国人、多文化共生の概要          第2回：新宿区の多文化共生活動の状況          第3回：新宿で外国人と関わる取り組み事例から学ぶ          第4回：新宿で暮らす外国人とのお話会</p> <p>また、本助成事業外の活動となるが、当会は新宿区内で在住外国人と日本人が出会いつながるコミュニティスペース運営を計画している。受講後に受講者が実際に在住外国人とつながる場に参加できるようにファシリテーションしていく。</p>

<p>② 地域課題・社会的課題</p>	<p><b>在住外国人と新宿</b></p> <p>日本国内の在住外国人は約 296 万人（「在留外国人統計」法務省 2022 年 6 月）と増加傾向にある。この背景には技能実習、留学生、労働者として多様な在留資格を持った外国人が増加したことによる。</p> <p>新宿区は居住者だけでも直近の統計数字において外国人の人口比率が約 11%と高い（2023 年 4 月 1 日現在 全人口 346,313 人に対して 39,829 人「住民基本台帳人口 外国人住民国籍別男女別人口」新宿区）。加えて、日本語学校、専門学校等の留学生を受け入れる教育機関が多く存在することや、多国籍の人びとが集う大久保エリアを有するなど、在住外国人が集中する要素を複数備えた地域である。</p> <p><b>地域社会と在住外国人</b></p> <p>新宿区多文化共生まちづくり会議では新宿区内の在住外国人の流動性の高さを指摘している（2020 年度、在住外国人転入者 11,702 人、転出者 15,567 人、「新宿区多文化共生まちづくり会議 審議結果報告書」新宿区 2022 年 8 月）。他方で、在住外国人で特に過去 10-20 年以内に来日した比較的新しい世代は単身の労働者または留学生として来日後、在日年数が長期化する傾向にあり、それに伴い家族が帯同するケースが増加している。新宿区はこの傾向が顕著で区内の小中学校に外国ルーツの子どもが増加するなど、家族として中長期的に新宿区内で生活圏を形成する在住外国人が増加している。新宿区は在住外国人の流動性の高さがありつつも、定着する動きがあり、これらの人びとを地域社会の構成員として共生するコミュニティづくりが必要ではあるが、以下に示す課題から、深刻なケースでは地域内での孤立や近隣トラブル等身近な課題に発展している状況もある。</p> <p>①日本人と在住外国人のつながる場・機会の不足</p> <p>当会が 2022 年度に開催した区民を対象とした在住外国人との交流会参加者アンケートにおいても、「外国人と関わりがない」「外国人と関わりたくとも、きっかけがない」と回答した人が参加者の約 7 割にのぼった。在住外国人との共生に比較的興味関心が高い層であっても入り口の少なさを感じていると言える。情報のインプットと実践の場の提供が連続してあることが課題解決の一助と考える。</p> <p>②情報へのアクセスが不十分であること</p> <p>在住外国人は言語や文化等の違いから行政から発出される生活情報や地域社会の情報にアクセスまたは理解する際に困難を抱えているケースが散見される。この課題は東京都の国際化を議論する「国際化市民フォーラム inTOKYO2021」においても議題テーマとして取り上げられている。これには、情報の翻訳という言語的な解決のみならず、在住外国人個別の背景への理解を踏まえつつ、顔の見える関係の中で対話的コミュニケーション（例：ゆっくりと、何度も、いろいろな言い回しで）も並行して用いることが効果的という例もあり、そのようなコミュニケーションを取れる地域のキーパーソンの育成や、関係性の構築が求められている。</p>
	<p>I. イベント（会議）名</p> <p>：「わたしの隣の外国人」を知る・つながる連続講座 第1回私のとなりの外国人～日本の在住外国人について知ろう～</p>
	<p>ア イベント（会議）の開催予定等</p>

<p>③ 活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)</p>	<p>活動内容：在住外国人関連の取り組みをしている専門家を招き、日本のこれまでの外国人受入れの変遷を振り返り、現在の状況やトレンド等、また、専門家の方が具体的に取り組んでいる事例を通じて理解を深める講座を開催する。</p> <p>講師例 ※現在交渉中：                  新居みどり氏/NPO 法人 CINGA (NPO 法人 国際活動市民中心)                  吉富志津代氏/武庫川女子大学教授、NPO 法人多言語センターFACIL 理事長                  実施期間：R5 年 7 月                  実施回数：( 1 ) 回/月・                  実施場所：会場 (早稲田奉仕園リバティホール)</p>
	<p><b>イ 対象者及び参加予定人数</b></p> <p>対象者：地域課題に関心がある人、多文化共生に興味のある人、同じ地域に住む外国人の状況について知りたいという区民 (在住・在勤・在学)                  参加予定人数： のべ ( 20 ) 名</p>
	<p><b>ウ 周知</b></p> <p>&lt;媒体&gt;  <input checked="" type="checkbox"/>ポスター    <input checked="" type="checkbox"/>チラシ    <input checked="" type="checkbox"/> HP    <input checked="" type="checkbox"/>その他 (SNS)                  &lt;周知先&gt;  <input checked="" type="checkbox"/>区施設 (特別出張所、地域センター等)    <input checked="" type="checkbox"/> 区直営掲示板  <input checked="" type="checkbox"/>その他 (自治会、社会福祉協議会、地域住民の集まるような地域の会議)</p>
	<p><b>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</b></p> <p>団体構成員 ( 4 ) 名                      講師等 ( 1 ) 名                  アルバイト ( ) 名                      ボランティア ( ) 名</p>
	<p><b>II. イベント (会議) 名</b>                  :「わたしの隣の外国人」を知る・つながる連続講座 第2回多様な人びとが行きかう町新宿～新宿の在住外国人について知ろう</p>
	<p><b>ア イベント (会議) の開催予定等</b></p> <p>活動内容：新宿区の多文化共生の状況、居住・在勤する外国人の状況について学びを深める学びを深める内容の講座を開催する。講師には新宿区にて多文化共生に関われている方、取材されている専門家の方を迎えてお話しいただく。                  講師例※現在交渉中：                  新宿多文化共生プラザ関係者の方、                  室橋裕和氏/新大久保在住。多文化共生について取材するライター。                  実施期間：R5 年 9 月                  実施回数：( 1 ) 回/月・                  実施場所：会場 (早稲田奉仕園リバティホール)</p>
	<p><b>イ 対象者及び参加予定人数</b></p> <p>対象者：地域課題に関心がある人、多文化共生に興味のある人、同じ地域に住む外国人の状況について知りたいという区民 (在住・在勤・在学)                  参加予定人数： のべ ( 20 ) 名</p>
	<p><b>ウ 周知</b></p>

	<p>&lt;媒体&gt;  <input checked="" type="checkbox"/>ポスター    <input checked="" type="checkbox"/>チラシ    <input checked="" type="checkbox"/>HP    <input checked="" type="checkbox"/>その他(SNS)          &lt;周知先&gt;  <input checked="" type="checkbox"/>区施設(特別出張所、地域センター等)    <input checked="" type="checkbox"/>区直営掲示板  <input checked="" type="checkbox"/>その他(自治会、社会福祉協議会、地域住民の集まるような地域の会議)</p> <p>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</p> <p>団体構成員 ( 4 ) 名                      講師等 ( 1 ) 名          アルバイト (      ) 名                      ボランティア (      ) 名</p>
<p>③ 活動内容          (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)</p>	<p>Ⅲ. イベント(会議)名          :「わたしの隣の外国人」を知る・つながる連続講座 第3回地域に住む外国人と一緒にできることを考える</p> <p>ア イベント(会議)の開催予定等</p> <p>活動内容: 講師には実際に新宿区内で多様な人びとを巻き込みながら地域活動をする人々をゲストスピーカーに招き、活動を学ぶ。その上で講座参加者自身が取り組みやすいような活動をワークショップ形式で考える場を作る。          講師例※現在交渉中:          サッカークラブチームクリアソン新宿関係者の方          (国際カップの活動についてお話いただくことを想定)          キムチドリアンカルダモン新大久保関係者の方          (子ども食堂の活動についてお話いただくことを想定)          実施期間: R5年11月          実施回数: ( 1 ) 回/月・          実施場所: 会場(早稲田奉仕園リバティホール)</p> <p>イ 対象者及び参加予定人数</p> <p>対象者: 地域課題に関心がある人、多文化共生に興味のある人、同じ地域に住む外国人の状況について知りたいという区民(在住・在勤・在学)          参加予定人数: のべ( 20 )名</p> <p>ウ 周知</p> <p>&lt;媒体&gt;  <input checked="" type="checkbox"/>ポスター    <input checked="" type="checkbox"/>チラシ    <input checked="" type="checkbox"/>HP    <input checked="" type="checkbox"/>その他(SNS)          &lt;周知先&gt;  <input checked="" type="checkbox"/>区施設(特別出張所、地域センター等)    <input checked="" type="checkbox"/>区直営掲示板  <input checked="" type="checkbox"/>その他(自治会、社会福祉協議会、地域住民の集まるような地域の会議)</p> <p>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</p> <p>団体構成員 ( 4 ) 名                      講師等 ( 2 ) 名          アルバイト (      ) 名                      ボランティア (      ) 名</p> <p>Ⅳ. イベント(会議)名          :「わたしの隣の外国人」を知る・つながる連続講座 外国ルーツの方と交流し、多文化共生について考える</p> <p>ア イベント(会議)の開催予定等</p>



災害時にすぐに避難できるようイベント会場では避難経路を確認し、スタッフも誘導できるよう事前に打ち合わせを行う。また、イベント開始時に避難経路を参加者に説明する。

④ 安全対策等  
(箇条書きで  
ご記入ください)

イ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・事業内での新型コロナウイルス感染リスクを避けるため、マスク着用、消毒の実施、定期的な換気等の感染対策を徹底して事業を実施する。万が一、事業内にて感染者が確認された場合には、当会内の「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に沿って対応する。
- ・政府の新型コロナウイルス感染拡大措置（緊急事態宣言、蔓延防止措置）の影響により、イベントの開催が制限される場合には、オンラインに切り替える等の代替方法にて実施する。

⑤ 期待される効果

ア 区民や地域社会への成果・効果

事業を通して講座受講者が、地域課題、多文化共生、地域に住む外国人の状況について理解を深め、実際に動き出せるような具体的な行動をイメージできるようになる。これにより、地域内で外国人と広く地域住民をつなげる役割を担う人材育成の一助となる。また、新宿区内の多文化共生活動や当会が2023年度活動を計画している多文化共生コミュニティスペース運営のボランティアへの参加にもつなげる。

イ 現状や課題に対する成果・効果

これまで外国人と関わりたくとも関われないという人々が、外国人と関わりを持てるようになる。そうすることで、困りごとや課題を抱えながらも、相談先が限られている在住外国人が、同じ地域に住む住民の助けにより、必要な情報やサービスにアクセスできるようになり、抱えている課題が深刻化する前に解決される。さらには、外国人と地域住民との間での交流が生まれ、両者間の地域のトラブルも軽減される。

⑥ 先駆性・専門性

当会はこれまで50年間、国際協力NGOとして、バングラデシュ、ネパールにて、貧困等により課題を抱える当事者だけでなくその周辺の人びとを巻き込みながら、マルチステークホルダーのアプローチで課題解決に取り組んできた。本事業においてもその経験を活かし、区民と共に在住外国人との共生したコミュニティづくりに取り組むことができると考えている。また、2021年より新宿区にて日本に住む外国人を支援する活動に取り組み、地域の町内会や社会福祉協議会、新宿区に在住・在勤・在学する外国人と関わりを持つことができた。活動の中で聞かれた声や気づきを本事業に取り入れることで、より効果的な課題解決に取り組むことができると考えている。

7 今後の展望

当会は新宿区内にコミュニティスペースを運営していく予定である。本事業での意識変容などがあつた受講者や同様の興味関心を持つ区民が気軽に在住外国人と関わった情報提供できるようなハブを目指して運営する。

⑧ 過去にこの助成を受けた実績	助成年度 (          )          事業名 (    )
	助成年度 (          )          事業名 (    )
	助成年度 (          )          事業名 (    )
⑨ この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	有の場合は、助成名称(団体)及び助成額 助成名(団体名)： 助成額：    円 <small>※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。</small>



収支予算書

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	235,200 円	早稲田奉仕園リパティホール利用料8600円×4時間×3回=103200、 キムチドリアンカルダモン利用料33000円×4時間=132000
	②消耗品及び印刷費	47,250 円	チラシ印刷費6000円×4回=24000、 第4回イベント参加者提供軽食費（予備含）600円×25名分=15000円、 第4回イベント参加者提供お茶200円×10本=2000円、 コピー用紙(A4,500枚) 450円×10セット=4500円 養生テープ300円×4個=1200円、 油性ペン110円×5本=550円
	③委託費	円	
	④講師謝礼	150,000 円	第1回～第3回講師謝礼30000円×4名=120000円 第4回講師謝礼10000円×3名=30000円
	⑤その他謝礼	円	
	⑥交通費	68,000 円	講師交通費① 31000円×1名分=31000円 講師交通費②5000円×1名分=5000円 ※講師候補の内東京都以外の遠方に住む方の交通費を計上 打合せ交通費1000円×4×8回分=32000円
	⑦保険料	7,000 円	郵便代350円×5か所×4回=7000円
	⑧その他諸経費	円	
	⑨新型コロナウイルス感染症対策経費	4,800 円	※上限額2万円以内 (20,000) 手指消毒代600円×8本=4800円
	⑩人件費	170,750 円	※下記「事業費」の25%以内 (170,750) 団体職員①分月額2022円×7時間×20日=283080円 団体職員②分月額2977円×7時間×12日=250068円 533148円の内362398円は助成対象外経費として計上
事業費（①から⑩の合計）		683,000 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		0 円	※事業費の5%以内 (34,150)
⑫助成対象経費（事業費+⑪）		683,000 円	
⑬助成対象外経費		362,398 円	人件費362398円（助成対象外分）
<b>事業総額</b>		<b>1,045,398 円</b>	

内 容		予 算 額	積算根拠（内訳）
収 入 区 分	㊦ 事業収入 （参加料、資料代等）	40,000 円	参加費500円×20名×4回=40000円
	㊧ 寄附金	円	
	㊨ 補助金等収入	円	
	㊩ 協働推進基金助成金	456,000 円	「①～⑧、⑪～⑬の合計」の2/3と「⑨」の合計 ※千円未満切り捨て
	㊪ 団体負担金	549,398 円	
<b>収入総額</b>		<b>1,045,398 円</b>	